

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長のほっこりコラム

市長 佐竹敬久



陽春はすぐそこに

市民の皆さんにとって、今年ほど春の訪れを待ちこがれた年はなかったのではないのでしょうか。

一年分の雪が二週間で降ったことになる年末年始の集中豪雪は、いまだ経験したことのないものでした。道路除雪が進まず、多くの市民に不便をおかけし、特に町内会長さんには大変にご難儀をおかけしたことを心苦しく思っております。

私も、一か月間、自分で車を運転しながら市内巡回を続けましたが、今回のことを教訓として、少しでも雪に強い体制を築くため、市役所をあげて取り組むことにしており、いづれ、後日、本広報で今年の大豪雪の総括編を特集したいと思えます。

ところで、除雪経費は特に生活道路の排雪に多額の経費を要したことから通年の六倍ほどになり、今後の雪捨て場等の復旧も加えると、市税の約一割、四十億円を超える市民の血税が水に流れることになりました。市の蓄えである基金をほぼ使い切り、本市の財布は空っぽになりました。

このため、国会議員への要望に加



雪捨て場となった勝平市民グラウンド

え、国の関係省庁に日参し、市町村には適用されない除雪費補助や内陸部と同様の雪対策施策の本市への適用をお願いに回っているしいです。

さて、雪は今風の若者言葉でいえば「超！大変」でしたが、新年早々、前向きな話題もありました。

存廃問題で大揺れした秋田駅西口の大型店の存続が決まり、また隣のデパートも間もなく新装となります。（通称駅裏の方も今では発展し東口と

呼んでおり、通称駅前には西口と呼ぶことにします。その方がカッコよくありませんか！）

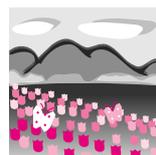
郊外への都市の膨張や大規模商業施設の立地などにより、全国的に中心市街地の空洞化が問題となる中で、国では郊外出店を規制する法律改正を行うことになりました。加えて中心市街地への商業サービスや居住の回帰に対し国の支援を充実する方向で検討が進められております。

本市においても、中心市街地の活性化が重要課題でしたので、今後、民間のかたがたとともにさまざまなプロジェクトに積極的に取り組んでいける環境が整ったこととなります。

また、全国的な景気回復の中で、久々に市内企業数社の大型設備投資も聞こえるようになりました。

厳しい冬の空のあとには、必ず希望に満ちた春の輝きが訪れます。

きたる平成十八年度を、多くの面で冬の時代が続いた秋田から、大豪雪を乗り越え陽春輝く秋田へと、確かな歩みを進める年度とするため、めげずに元気に頑張ります。





包括外部監査の結果報告 文化施設と美短の 財務・運営を監査

平成17年度の包括外部監査を依頼している堀井照重・公認会計士(写真)から、監査結果の報告がありました。

包括外部監査は、秋田市の財務事務が適正に行われているかを、市の組織に属さない独立した立場の監査人がチェックするものです。

今回は、教育委員会所管の文化施設(千秋美術館、赤れんが郷土館、佐竹史料館、文化会館など)と秋田公立美術工芸短大の財務事務・運営管理について監査が行われました。その中からいくつかの指摘事項などをお知らせします。市ではこれらの内容を検討し、順次改善を進めていきます。

教育委員会所管の文化施設について

文化施設が加入する共済保険は、災害による損失が生じた場合、再築に要する全額をカバーしない「一部共済」であるため、万一に備え、「全部共済」へ変更すべきである
施設によっては、人件費などの費用削減をはかるため、指定管理者制度の導入を検討すべきである

民俗芸能伝承館の貸室の稼働率や、冬季の利用者数が低いため、稼働率向上策が必要である

旧黒澤家住宅は、市郊外にあるため、入館者が少なく、かつ、相当の運営費を要するため、今後の施設の活用方針を見直す必要がある

秋田公立美術工芸短大について

卒業生の市内就職者が少ない状況にある。市内出身者の推薦(入学)枠を拡大するなど、市内就職者数の向上をはかる必要がある
平成16年度から、県内の大学、短大などにおいて、単位互換制度を実施しているが、派遣・受入とも伸び悩んでいる。積極的に制度を活用すべきである

大学の内部環境を見直す自己点検・評価制度の早期実施が望まれる。その結果、4年制大学化などを本格的に検討することになった場合、市の財政負担の増加と少子化による学生数確保の困難を十分に考慮する必要がある



2月13日、卸町団地の企業などからなる協同組合秋田卸センターと市が協働で、団地内の一斉除排雪を行いました。

除排雪方法の改善案、意見、体験談などをお聞かせください

「48豪雪」以来32年ぶりとなったこの冬の大雪は、市民生活に大きな混乱を引き起こし、除排雪予算も2月まで34億円に膨らみました。

市では、これまで市民のみなさんから除排雪に関してさまざまな意見・提言をいただいておりますが、雪への熱い気持ちが冷めないうちに、ここであらためて、いろいろな考え、この冬の体験談などを伺いたいと思います。

道路の除排雪方法の改善案・意見、町内会や隣近所、会社で行った除雪活動の事例などをご紹介ください。お寄せいただいた内容は、来季からの除排雪対策の貴重な資料にさせていただきます。

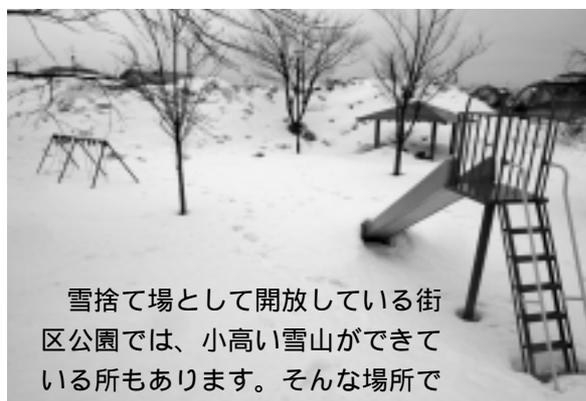
応募方法

3月15日(水)まで、郵送またはEメール、ファクスでお寄せください。タイトルには「除排雪について」とお書きください。
〒010-8560秋田市雪害警戒対策部広報担当
Eメール saigai@city.akita.akita.jp
ファクス(866)2281

問い合わせ

雪害警戒対策部広報担当tel(866)2034

雪捨て場には遊ばないで！ 公園では遊ばないで！



広面谷地眼街区公園

雪捨て場として開放している街区公園では、小高い雪山ができています。そんな場所で遊ぶと、雪に埋まったりするかもしれず危険です。子どもたちが立ち入らないようご注意ください。